

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.kagyoren.jf-net.ne.jp/>



JF
JF香川漁連

高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

おさかな大使通信



《ハロウィンイベント》

10月16日(土)、17日(日)の2日間にわたり、高松市生島町の香川県総合運動公園にて「FAN FUN DAYS Halloween party」が開催されました。

今回、そのイベントステージで16日は香川おさかな大使3人揃って、17日は私(田村)一人で「おさかなクイズ」を行いました。両日合わせ過去最大規模となる53店舗が出店し、出演時にはステージの前に沢山の子供たちや大人の方も集まりました。みんなに答えてもらえる問題や、私たちでも頭を悩ますような難しい問題もあり、盛り上がった元気な声が会場に響いていました。

屋外のステージで多くの方の前に立つのは初めてでしたが、実際に目を合わせ、香川のおさかなをできるだけ多くの方に伝えようとするのは、大変学びの多い経験でした。

今後もこのような機会を頂けることを願い、私たちの存在を、香川のおさかなのことをもっと広げていきたいと改めて感じました。(田村純麗)



ハマチやノリ、イリコに関するおさかなクイズを出題しました！クイズを通して県産水産物のPRもさせていただきました！

(左から) 田村大使、浦川大使、竹林大使

《首都圏 せとうち旬彩館イベント》

10月1日(金)～10月3日(日)の3日間、東京新橋にある「香川・愛媛せとうち旬彩館」にてオリーブハマチの販売促進を行いました。初日は台風が直撃している東京に着き、少し不安な売れ行きでしたが、中日は異例の売り上げとなり、最終日には、午前中でオリーブハマチ6本分を完売させることができました。初めての店頭での販売促進活動でしたが、お客様に対する姿勢、お声がけの仕方などたくさんのことを学び習得することができました。そして、離れた東京の方々にもオリーブハマチの名前を、おいしさを知ってもらえたことが何より嬉しかったです。(田村純麗)



香川おさかな大使の田村さん

ノリ採苗終了

令和3年度のノリ人工採苗が、本会多度津のり種苗センターで9月24日(金)より開始され、天候にも恵まれて10月15日(金)に予定数量の約3万4千反を採苗し、終了しました。

栄養塩については、現在は上昇傾向で推移しており、今漁期のノリの豊作を心より期待しています。



県内一斉海ごみクリーン作戦 「さぬ☆キラ」開始式開催

10月24日(日)サンポート高松において第8回県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬ☆キラ」が行われました。このイベントは香川県、香川県海ごみ対策推進協議会が主催しており、令和3年10月24日(日)～11月7日(日)の15日間にわたり、香川県内の山・川・里(まち)・海で清掃活動を行っています。昨年度は36,900人が参加され、約76tもの海ごみが回収されました。



サンポート高松周辺のごみ拾い

令和2年度の香川県の調査では香川県の海ごみ状況、また回収処理対策は下記の通りです。

○海岸漂着物

【状況】推計150t、プラスチック類、発砲スチロールが8割以上、ペットボトルや食品包装が多い

【対策】ボランティア活動による回収の推進、海岸管理者等による回収・処理や重点的に推進する区域を決めて対応する

○漂流ごみ

【状況】推計24t、プラスチック類が半分以上、発砲スチロールも3割以上、ペットボトルが最多

【対策】国・県の海面清掃船による回収・処理、港湾管理者による港湾区域の回収・処理を行う

○海底堆積ごみ

【状況】推計325t、プラスチック類が7割

【対策】香川県方式の海底堆積ごみ等回収・処理システムの拡大、国の補助金等を活用した回収を行う

海ごみは、日常生活から出たごみが、山や里から川などを通じて海へ流れ出たものが多いと考えられています。海ごみ対策は継続して実施していくことが重要であり、海ごみの減少に向けて、県民みんなが一人一人ができることから取り組みましょう！

かがわ漁業塾修了式

10月20日(水)香川県漁連会館6階大会議室で、「かがわ漁業塾」の修了式が執り行われました。



鳴野塾長から修了証の授与

「かがわ漁業塾」は香川県内での水産業の就業希望者を対象にした研修制度で、平成27年度に開設されました。第7期生として今年4月には男性4名、女性1名が入塾し、半年間にわたり座学と実地研修を受講、研修を終え、修了式が行われました。

修了式ではまず、塾生が研修で学んだ内容や、それを生かしてどのような漁業者になりたいかなどについて研修報告がありました。そして修了証の授与が行われ、鳴野塾長より「皆様が漁業者となるための心構えとして、地域の調和を重視し取り組んでいただきたい。自然相手の命の危険が伴う職業ですが、かがわ漁業塾に入塾した時の初心と感謝の心を忘れず立派な漁業者として成長されることを願っています。」との祝辞が送られました。その後、塾生を代表して上田真也さんより「次代を担う漁業者として、活力ある香川の漁業の発展に貢献できるよう精進することを誓います」と宣誓が行われました。



塾生5名と記念撮影